

問1 日本国憲法において、平和主義や基本的人権の尊重と並ぶ三つの基本原理の一つであり、国の政治のあり方を最終的に決定する権力は国民にあるとする原理を何というか。 (2021年 新潟県公立入試 類似)

1. 天皇主権
2. 平和主義
3. 基本的人権の尊重
4. 国民主権

問2 明治政府が官営工場を建設するなどして「殖産興業」を推し進めた主な目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 新潟県公立入試 類似)

1. 仏教を排除して神道を国教化し、天皇を中心とした国民の精神的な統合を図ることで国家の基盤を固めるため
2. 江戸時代の封建的な身分制度を廃止し、四民平等の考えを広めることで国民の自由な経済活動を促すため
3. 土地の所有者に地券を発行し、収穫量に関わらず現金で税を納めさせることで、政府の財政を安定させるため
4. 欧米の技術を積極的に取り入れることで産業を近代化させ、経済力をつけることで軍事力の強化を図るため

問3 経済活動を構成する三つの主体である家計、企業、政府の間のやり取りにおいて、家計が企業に対して労働力を提供した際、その対価として企業から家計へ支払われる資金を何と呼びますか。 (2026年 新潟県公立入試 類似)

1. 配当
2. 賃金
3. 利潤
4. 社会保障給付

問4 茨城県、岐阜県、静岡県、山梨県の4県について、土地の様子や産業を比較した統計資料があります。この資料において、茨城県の数値を示す特徴として正しいものはどれですか。 (2019年 新潟県公立入試 類似)

1. 4県の中で製造品出荷額は15兆円を超え最大であるが、野菜よりも茶などの工芸作物の産出額に特色があり、山地面積は茨城県よりも広い。
2. 4県の中で果実の産出額が最も高く、山地面積が広いため傾斜地を利用した果樹園経営が盛んだが、製造品出荷額は4県の中で最も低い。
3. 4県の中で山地面積が最も小さく、野菜の産出額が1,890億円と最も高い数値を示しており、製造品出荷額も11兆円を超える高い水準にある。
4. 4県の中で山地面積が最も大きく、農産物の産出額は全体的に低いが、中京工業地帯に近い地理的要因から製造品出荷額が最も高い。

問5 平安時代の政治体制の変遷について、初期、中期、後期の順に出来事を並べたものとして正しいものはどれですか。 (2019年 新潟県公立入試 類似)

1. 桓武天皇が坂上田村麻呂を東北に派遣した時期、藤原氏が摂政・関白として実権を握った時期、白河上皇が院政を始めた時期
2. 藤原氏が摂政・関白として実権を握った時期、桓武天皇が坂上田村麻呂を東北に派遣した時期、白河上皇が院政を始めた時期
3. 白河上皇が院政を始めた時期、藤原氏が摂政・関白として実権を握った時期、桓武天皇が坂上田村麻呂を東北に派遣した時期
4. 桓武天皇が坂上田村麻呂を東北に派遣した時期、白河上皇が院政を始めた時期、藤原氏が摂政・関白として実権を握った時期

問6 諏訪盆地における工業の歴史的な変遷と、現在の状況について述べた説明として、正しいものはどれですか。 (2026年 新潟県公立入試 類似)

1. 明治時代に盛んだった綿糸の製造から、戦後は重化学工業へと転換し、現在は輸入した鉄鉱石をもとに大規模な製鉄が行われている。
2. 明治時代に盛んだった生糸の製造から、戦後は精密機械工業へと転換し、現在は電子部品や計測機器などの製造も中心となっている。
3. 明治時代から一貫して輸送用機械の製造が盛んであり、現在は広大な平坦地を利用した自動車の組み立て工場が集積している。
4. 明治時代に盛んだったパルプ・製紙業から、戦後は石油化学工業へと転換し、現在はプラスチック製品の出荷額が全国有数である。

問7 白河上皇が院政を開始する前提となった、当時の皇室と藤原氏との関係性の変化について述べた説明として、最も適切なものはどれか。 (2024年 新潟県公立入試 類似)

1. 承久の乱の結果、幕府が朝廷の政治に介入するようになった。
2. 平氏が武士として台頭し、藤原氏を政治の中枢から完全に追放した。
3. 遣唐使が廃止され、国風文化が広まったことで天皇の権威が向上した。
4. 藤原氏を外戚に持たない後三条天皇が即位したことで、摂関家の影響力が弱まった。

問8 ある年の統計資料によると、12月14日に衆議院議員総選挙が行われ、その10日後の12月24日に国会が召集されています。このように、衆議院の解散による総選挙の後に、内閣総理大臣の指名などを行うために召集される国会の種類として適切なものはどれですか。 (2021年 新潟県公立入試 類似)

1. 特別会
2. 臨時会
3. 常会
4. 緊急集会

問9 世界の経度の基準となる経度0度の線は、イギリスの旧グリニッジ天文台を通っています。この経線の名称として正しいものを選びなさい。 (2024年 新潟県公立入試 類似)

1. 本初子午線
2. 日付変更線
3. 北回歸線
4. 赤道

問10 鎌倉時代において、源頼朝の妻として幕府を支え、頼朝の死後には「尼將軍」と呼ばれて実権を握った人物は誰か。最も適切な人物を選びなさい。 (2024年 新潟県公立入試 類似)

1. 日野富子
2. 北条時宗
3. 北条政子
4. 北条時政

問11 19世紀中頃、江戸幕府の老中が、幕府の権力を強めるために行った「天保の改革」について、その中心となった人物と、改革で実施された内容の組み合わせとして正しいものはどれか。 (2023年 新潟県公立入試 類似)

1. 松平定信 ― 飢饉に備えて困米を奨励し、旗本や御家人の借金を帳消しにする棄捐令を出して武士の生活を救おうとした。
2. 水野忠邦 ― 物価の上昇を抑えるために株仲間を解散させ、江戸や大坂周辺の土地を幕府直轄地にしようとする上知令を出した。
3. 徳川吉宗 ― 裁判の基準となる公事方御定書を定め、目安箱を設置して民衆の意見を政治に反映させようとした。
4. 田沼意次 ― 株仲間の結成を積極的に奨励し、そこから得られる運上金や買追加金によって幕府の財政を潤そうとした。

問12 1930年代のイギリスにおいて、世界恐慌による不景気への対策として行われた経済政策の推移と影響について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 新潟県公立入試 類似)

1. 世界中の国々と関税を撤廃する協定を結び、自由貿易を促進することで世界経済の回復を図った。
2. 国際連盟の指導のもとで、すべての加盟国と均等な条件で貿易を行う新しい経済秩序を構築した。
3. 植民地との貿易を優先して他国の商品を締め出したことで、持てる国と持たざる国の対立を招いた。
4. 植民地をすべて独立させることで、本国の財政負担を減らし、国内産業の近代化に集中した。

問13 インドネシアの産業構造や輸出に関する記述として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 新潟県公立入試 類似)

1. 冷涼な気候を利用した野菜や果実の栽培が盛んで、その輸出額が石炭を上回っている。
2. 航空機や人工衛星などの高度な精密機械が、輸出額の大部分を占めている。
3. 広大な国土を活かした小麦やトウモロコシなど、大規模な穀物農業が産業の中心である。
4. 石炭などの地下資源や、アブラヤシから採れるパーム油などの一次産品が主要な輸出項目である。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 国民主権	日本国憲法の前文では、主権が国民に存することを宣言しています。これは、国の政治のあり方を最終的に決定する権力は国民が持つという考え方であり、大日本帝国憲法における天皇主権から大きく転換された点です。
問2	答え 4 欧米の技術を積極的に取り入れることで産業を近代化させ、経済力をつけることで軍事力の強化を図るため	明治政府の最大の目標は、欧米諸国と対等に渡り合える「富国強兵」を実現することでした。その土台として、まずは国主導で機械工業や製糸業などの近代産業を育成する必要がありました。そのため、政府が直接資本を投じて官営模範工場を建設し、欧米の優れた機械や技術、技術者を導入して、国内の民間産業が発展するための手本としました。選択肢にある税制の安定は地租改正、身分制度の廃止は四民平等の目的です。
問3	答え 2 賃金	家計は企業に対して労働力を提供し、企業はその対価として賃金を支払います。これが家計の主な収入源となります。利潤は企業が得る儲けのことであり、配当は株主に対して分配される利益の一部、社会保障給付は主に政府から家計に対して支払われる年金や医療費などを指します。
問4	答え 3 4県の中で山地面積が最も小さく、野菜の産出額が1,890億円と最も高い数値を示しており、製造品出荷額も11兆円を超える高い水準にある。	統計データを見ると、茨城県は他の3県と比較して山地が少なく平坦な土地が多いため、大規模な農業が可能です。その結果、野菜の産出額は4県の中で突出して高く、近郊農業の強みが表れています。同時に、製造品出荷額も11兆円を超える規模であり、農業と工業がバランスよく、かつ高いレベルで発展していることが読み取れます。山梨県や静岡県は果実の産出額に強みがありますが、野菜の産出額や土地の平坦さでは茨城県が上回ります。
問5	答え 1 桓武天皇が坂上田村麻呂を東北に派遣した時期、藤原氏が摂政・関白として実権を握った時期、白河上皇が院政を始めた時期	平安時代初期には桓武天皇が平安京へ遷都し、蝦夷征伐のために坂上田村麻呂を征夷大將軍に任じました。中期になると藤原道長らによる摂関政治が全盛期を迎え、後期には藤原氏の勢力を抑えるために白河上皇が院政を開始しました。政治の実権が「天皇」から「藤原氏（貴族）」、そして「上皇」へと移り変わった歴史的背景を理解することが重要です。
問6	答え 2 明治時代に盛んだった生糸の製造から、戦後は精密機械工業へと転換し、現在は電子部品や計測機器などの製造も中心となっている。	諏訪盆地の工業は、時代のニーズに合わせて発展してきました。明治時代には主要な輸出製品であった生糸を生産していましたが、戦後はその技術基盤を継承しつつ、時計やカメラに代表される精密機械工業へ転換しました。さらに近年では、技術の高度化にともない、小型で高付加価値な電子部品や、医療機器、計測機器などの製造へとさらなる多角化が進んでいます。綿糸や重化学工業は、主に沿岸部の工業地帯・地域の特徴であり、内陸の諏訪盆地には当てはまりません。
問7	答え 4 藤原氏を外戚に持たない後三条天皇が即位したことで、摂関家の影響力が弱まった。	それまでの摂関政治は、藤原氏の娘が天皇の妃となり、生まれた子を天皇に立てることで成立していました。しかし、藤原氏を母に持たない後三条天皇が即位したことで、藤原氏が摂政・関白として力を振るう根拠が揺らぎました。その子である白河天皇が上皇となって院政を確立する土壌が、ここで作られました。
問8	答え 1 特別会	衆議院が解散され、総選挙が実施された後に開かれる国会は、その期日から30日以内に召集される決まりがあり、これを特別会といいます。例に挙げたケースでは、12月14日の総選挙から10日後という「30日以内」の期間内に召集されており、解散総選挙に伴うものであることから特別会に該当します。これは、毎年1回定期的に召集される常会や、特定の議案を審議するために召集される臨時会とは、召集に至る背景が明確に異なります。
問9	答え 1 本初子午線	経度は、イギリスのロンドン郊外にある旧グリニッジ天文台を通る線を0度と定め、これを本初子午線と呼びます。この線から東側を東経（180度まで）、西側を西経（180度まで）と呼び、世界各地の位置や時差を計算する際の基準となっています。
問10	答え 3 北条政子	北条政子は鎌倉幕府を開いた源頼朝の妻です。頼朝の死後、実家である北条氏が執権として権力を握る中で、中心的な役割を果たしました。後に足利義政の妻として政治に介入した日野富子や、元寇の際に執権だった北条時宗などと区別する必要があります。
問11	答え 2 水野忠邦 ― 物価の上昇を抑えるために株仲間を解散させ、江戸や大坂周辺の土地を幕府直轄地にしようとする上知令を出した。	江戸時代後期の1841年から始まった天保の改革では、老中の水野忠邦が幕府権力の強化を図りました。彼は物価高騰の原因が商人の独占にあると考え、株仲間を解散させましたが、流通が混乱して逆効果となりました。また、幕府の財政基盤を固めるために江戸や大坂周辺の領地を没収しようとした「上知令（あげちれい）」は、大名や旗本からの激しい反発を買い、改革が失敗に終わる大きな要因となりました。
問12	答え 3 植民地との貿易を優先して他国の商品を締め出したことで、持てる国と持たざる国の対立を招いた。	イギリスなどの広大な植民地を有する国々は、自国の産業を守るために「持てる国」として排他的なブロック経済を構築しました。この動きは、市場や資源の供給地を植民地に求めていた「持たざる国」であるドイツや日本などの不満を爆発させ、軍事的な対外進出を強めるきっかけとなりました。このように、経済的な自国優先主義が国家間の致命的な対立を招いたという因果関係が重要です。
問13	答え 4 石炭などの地下資源や、アブラヤシから採れるパーム油などの一次産品が主要な輸出項目である。	インドネシアは熱帯の気候と豊富な地下資源に恵まれており、かつては石油輸出国機構（OPEC）に加盟していた時期もあるほど資源が豊富です。現在は石炭の輸出額が非常に大きく、またアブラヤシから生産されるパーム油は、世界最大の生産量を誇っています。選択肢にあるような航空機（精密機械）や、大規模な穀物農業、冷涼な気候による果実栽培は、インドネシアの主要な産業特性とは異なります。